

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 平成31年 2月18日（月）11:00～

場所 白石市防災センター2階 会議室

1. 2月市議会定例会提出議案について
2. 白石市上下水道お客さまセンターの開所について
3. 「上下水道災害時における応急給水協定及び検針時高齢者等の見守り協定」締結式
4. 白石中学校と中国の中学校との友好校締結について

第434回白石市議会定例会予定表

平成31年2月22日～3月8日（15日間）

月 日(時)	曜	区 分	摘 要	付 記
2/22 (10:00)	金	本会議 <u>ネット中継</u>	開 会 諸般の報告（議長） 市行政報告（市長） 会期の決定 特別委員会の中間報告 スマートインターチェンジ設置推進特別委員会 施政方針表明 第1号議案～第26号議案（26件） 説明 【議案質疑通告締め切り（午後5時）】	(付託協議) 各常任委員会 議会運営委員会
2/23	土	休 会		
2/24	日	休 会		
2/25	月	休 会		
2/26	火	休 会		
2/27 (10:00)	水	本会議 <u>ネット中継</u>	第1号議案～第14号議案（14件） 質疑、委員会付託省略、討論、表決 又は質疑、委員会付託 第15号議案～第26号議案（12件） 質疑、予算審査特別委員会設置・付託 【一般質問通告締め切り（午後3時）】	
2/28	木	休 会 <u>ネット中継</u>	予算審査特別委員会審査	議会運営委員会 (12:30)
3/1	金	休 会 <u>ネット中継</u>	予算審査特別委員会審査	
3/2	土	休 会		
3/3	日	休 会		
3/4	月	休 会 <u>ネット中継</u>	予算審査特別委員会審査 常任委員会審査	
3/5	火	休 会	常任委員会審査	
3/6 (10:00)	水	本会議 <u>ネット中継</u>	市政に対する一般質問	
3/7 (10:00)	木	本会議 <u>ネット中継</u>	市政に対する一般質問 【討論通告締め切り（正午）】	
3/8 (10:00)	金	本会議 <u>ネット中継</u>	常任委員会付託議案（ 件） 委員長報告、質疑、討論、表決 第15号議案～第26号議案（12件） 委員長報告、質疑、討論、表決 議提第 号 議員派遣の件 閉会中における委員会の所管事務調査について 閉 会	

※市政に対する一般質問の日程は、質問者数の関係で1日となる場合があります。

第434回白石市議会定例会提出議案件名一覧

番 号	件 名
第 1 号議案	仙南地域公立認可保育所の相互利用に関する協定の廃止に関する協議について
第 2 号議案	消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例
第 3 号議案	白石市農産物直売所建設基金条例を廃止する条例
第 4 号議案	白石市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例
第 5 号議案	白石市市税条例の一部を改正する条例
第 6 号議案	白石市環境基本条例の一部を改正する条例
第 7 号議案	白石市駐車場条例の一部を改正する条例
第 8 号議案	白石市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例
第 9 号議案	白石市歯科休日診療所条例を廃止する条例
第10号議案	白石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第11号議案	白石市子育て支援・多世代交流複合施設条例の一部を改正する条例
第12号議案	白石市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第13号議案	白石市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
第14号議案	白石市心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
第15号議案	平成30年度白石市一般会計補正予算（第6号）
第16号議案	平成30年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
第17号議案	平成30年度白石市介護保険特別会計補正予算（第4号）
第18号議案	平成30年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
第19号議案	平成30年度白石市水道事業会計補正予算（第2号）
第20号議案	平成30年度白石市下水道事業会計補正予算（第3号）

第 2 1 号議案	平成 3 1 年度白石市一般会計予算
第 2 2 号議案	平成 3 1 年度白石市国民健康保険特別会計予算
第 2 3 号議案	平成 3 1 年度白石市介護保険特別会計予算
第 2 4 号議案	平成 3 1 年度白石市後期高齢者医療特別会計予算
第 2 5 号議案	平成 3 1 年度白石市水道事業会計予算
第 2 6 号議案	平成 3 1 年度白石市下水道事業会計予算

平成30年度 平成31年2月補正予算概要

(単位:千円)

会 計 名		補正前の額	補 正 額	総 額
一 般 会 計		15,366,427	△ 48,967	15,317,460
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	3,884,630	113,048	3,997,678
	介 護 保 険	3,868,045	10,177	3,878,222
	後 期 高 齢 者 医 療	433,038	△ 21,436	411,602
	計	8,185,713	101,789	8,287,502
合 計		23,552,140	52,822	23,604,962

企業会計

(単位:千円)

会 計 名	補正前の額	補 正 額	総 額
水 道 事 業 会 計	1,634,079	△ 158,421	1,475,658
下 水 道 事 業 会 計	1,996,128	△ 8,027	1,988,101

※企業会計は収益的支出＋資本的支出

2月補正の主な事業及び金額

一般会計

(単位:千円)

事業名	金額
・ハザードマップ作成事業	20,000
・地籍調査事業	31,935
なお、上記以外は事業費確定等による減額補正が主である。	

ハザードマップ作成事業

担当：総務部危機管理課

本市では、水害や土砂災害に対して、市民の皆さんが自分の住んでいる地域の浸水や土砂災害の可能性についての認識を深めるとともに、市指定避難場所の確認など万が一の場合に備えていただくため、「白石市防災マップ（ハザードマップ）」を作成し市民に配布しています。

現在のハザードマップは、平成26年度に作成したものであるため、平成27年7月の水防法改正などにより、洪水浸水想定区域図等の見直しが必要となっております。

去る2月7日に成立した国の第2次補正予算による防災・安全社会資本整備交付金を活用し、新たにハザードマップを作成、市内の全世帯へ配布を行います。

このことにより、災害が発生した場合に安全かつ迅速に避難できるようにし、災害による被害の軽減につなげ、安全・安心のまちづくりの推進を目指します。

○事業概要

1 地図情報：

浸水想定区域、土砂災害警戒区域、避難所、防災関係機関及び施設、災害時要援護者施設、国道、県道、鉄道、主要河川

2 災害意識啓発情報

ハザードマップの解説及び使い方、土砂災害の種類と前兆現象、避難を開始するタイミング、避難勧告等の避難情報の伝達方法と経路、災害関連情報の発表基準、災害関連情報の入手先、避難時の心得、避難時の危険箇所、災害時要支援者への避難の協力方法、住宅の風水害対策の例示、非常持出品の内容

[歳入] 市債

ハザードマップ作成事業債 10,000千円

[歳出] 9款 消防費 1項 消防費 5目 防災費

2事業 防災対策経費

13節 委託料

ハザードマップ作成業務委託料 20,000千円

平成31年度一般会計・特別会計等予算総括表

(単位:千円)

区 分 会 計 別	平成31年度	平成30年度	現計予算額	比 較 増 減			
	当初予算(A)	当初予算(B)	12月補正(C)	(A)－(B)	増減率(%)	(A)－(C)	増減率(%)
一般会計	14,135,332	14,621,115	15,366,427	△ 485,783	△ 3.3	△ 1,231,095	△ 8.0
特別会計							
国民健康保険	3,952,320	3,846,105	3,884,630	106,215	2.8	67,690	1.7
介護保険	3,692,273	3,673,330	3,868,045	18,943	0.5	△ 175,772	△ 4.5
後期高齢者医療	410,364	413,388	433,038	△ 3,024	△ 0.7	△ 22,674	△ 5.2
特別会計計	8,054,957	7,932,823	8,185,713	122,134	1.5	△ 130,756	△ 1.6
合 計	22,190,289	22,553,938	23,552,140	△ 363,649	△ 1.6	△ 1,361,851	△ 5.8

企業会計

水道事業会計	1,370,720	1,628,644	1,634,079	△ 257,924	△ 15.8	△ 263,359	△ 16.1
下水道事業会計	1,992,646	1,994,258	1,996,128	△ 1,612	△ 0.1	△ 3,482	△ 0.2

注:企業会計については収益的支出+資本的支出額

平成31年度 当初予算概要

担当：総務部財政課

平成31年度一般会計当初予算は、141億3,533万2千円。前年度当初予算に比べ、4億8,578万3千円（△3.3%）の減となっており、4年連続のマイナス予算となりました。

これは、中河原白石沖線街路事業、参議院議員選挙等に係る選挙費、仙南地域広域行政組合負担金などの増加はあるものの、白石市外二町組合への繰出金、地方創生推進交付金事業、地方道路整備事業などの減少によるものです。

主な事業の詳細は別紙1から9のとおりです。

平成31年度当初予算の主要事業

一般会計等

(単位：千円)

事業名	金額
○学校教育の充実 白石学びの環境づくり事業	13,300
○心のケアプロジェクト	150
○第六次白石市総合計画・第三次白石市国土利用計画策定事業	15,951
○地方創生推進交付金事業	323,295
○市民バス運行事業	71,000
○定住の促進 わくわく地方生活実現政策パッケージ	5,000
○東北観光復興対策交付金事業	61,753
○白石スキー場整備事業	129,600
○有害鳥獣対策 有害鳥獣被害防止対策事業	36,968

平成31年2月議会 記者会見資料
平成31年度当初予算関係

白石学びの環境づくり事業

総括担当：教育委員会学校管理課

本市の将来を担う子ども達に「生きる力」を身に付けさせるためには、学ぶ力、意欲を育て、伸ばすことが最重要課題であり、ソフト・ハード両面から、教育環境づくりを推進します。

1 学力向上プロジェクト事業

○白石市学力・学習状況調査の実施 1, 030千円

子ども一人一人の力がどれだけ伸びたのかを客観的なデータで把握することで、各学校の授業改善につなげます。

[歳出] 10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育振興費
7事業 学力向上プロジェクト事業(5, 741千円)
13節 学力調査業務委託料

2 教育環境の整備

○タブレット型パソコン等の配置 8, 120千円

生徒用パソコンを全てタブレット型に更新することにより、可動性が広がるとともに、電子黒板との連携向上など汎用性の向上を図ります。

[歳出] 10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育振興費
2事業 一般管理的経費 14節 使用料及び賃借料

3 国際理解教育の促進

○白石市国際交流支援協議会補助金 4, 105千円

オーストラリアへの中学生派遣事業の派遣生徒数を6名から8名に増加（事業主体の白石市国際交流支援協議会に対する補助金の増額）。市の代表として積極的に英語力の向上、異文化理解を図ろうとする生徒を派遣し、国際理解教育の促進へとつなげます。

[歳出] 2款 総務費 1項 総務管理費 16目 国際交流費
2事業 国際交流事業費 19節 負担金補助及び交付金

4 心のケア対策

○教育関係者の相談窓口設置 45千円

本市の「心のケアプロジェクト事業」の一環として、不登校の問題など、児童生徒の心のケアにあたる教育関係者の相談体制をつくります。

[歳出] 10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育振興費
6事業 一般管理的経費 8節 報償費

平成31年2月議会 記者会見資料
平成31年度当初予算関係

心のケアプロジェクト事業

担当：保健福祉部
地域包括支援センター
子ども家庭課
健康推進課

高齢者を支える方々のメンタルヘルス相談をはじめ、子どもへの関わり方や子育て中の母親の心の相談に、精神科医のご協力をいただき取り組むもので、問題となっている対象者そのものではなく、対象者を取り巻く利害関係者（家族、事業者、職場関係者など）の心の相談を受けるなどサポートを充実させて、支援者を対象とした精神保健活動及び心身の健康維持を図ります。

○事業概要

1 高齢者部門：「介護家族及び支援者のこころの健康事業」

高齢者の介護家族や介護事業者などに精神科医が個別面接や助言を行うことで、高齢者を支える方々の心の健康保持に努めるとともに、個別支援の事例検討会の開催などにより関係者のスキルアップにつなげます。

[歳入] 介護保険特別会計

保険料（第1号被保険者保険料）	20千円
国庫支出金（地域支援事業交付金）	34千円
県支出金（地域支援事業交付金）	17千円

[歳出] 介護保険特別会計

3款 地域支援事業費 3項 包括的支援事業・任意事業費	
2目 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	
2事業 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	
8節 報償費	90千円

2 子ども部門：「保育の質の向上のための研修事業」

発達障がいや行動が気になるお子さんへの保育士の関わり方や事例の研修を行います。

[歳入] 一般会計
国庫支出金
子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金 7千円

[歳出] 一般会計
3款 民生費 2項 児童福祉費 4目 保育園費
2事業 保育園運営費
8節 報償費 15千円

3 母子・乳幼児部門：「母子、乳幼児等メンタルヘルス事業」
子育て中の母や虐待のおそれがある母のメンタルヘルスに関する支援を行
うため、個別相談や支援スタッフ向けの研修会を開催します。

[歳出]：一般会計
4款 衛生費 1項 保健衛生費 3目 予防費
6事業 母子保健事業
8節 報償費 45千円

平成31年2月議会 記者会見資料
平成31年度当初予算関係

第六次白石市総合計画・第三次白石市国土利用計画 策定事業

担当：総務部企画情報課

本市の目指すべき将来像とその実現に向けた基本的な方針を示して各分野の施策を実施し、戦略的かつ効率的な行政運営と特色あるまちづくりを進めるために、計画期間を平成33年度から平成42年度までの10年間とする第六次白石市総合計画（基本構想・基本計画）を策定します。

また、総合計画が目指す目標に土地利用の観点から貢献するための計画である国土利用計画についても、本格的な人口減少・高齢化に伴い、土地利用状況にも変化が生じていることから、今後の土地利用の方向性を示すために、第三次白石市国土利用計画を策定します。

平成31年度は、現況分析、基本構想及び基本計画の素案の検討を行うとともに、第五次総合計画における各地区のまちづくり宣言を深化させ、地域課題の解決に向けて、地域住民が主体となって地域づくりをさらに進めるために、地域づくりの専門家による研修会などを開催します。加えて、白石市総合計画審議会を設置し、本格的に第六次総合計画の策定作業を進めます。

[歳出]	2款 総務費	1項 総務管理費	7目 企画費
	2事業 企画関係経費		
	1節 報酬		165千円
	8節 報償費		786千円
	13節 委託料		15,000千円
		合計	15,951千円

【債務負担行為】

- ・事 項 第六次白石市総合計画・第三次白石市国土利用
計画策定業務委託料
- ・期 間 平成30年度から平成32年度
- ・限度額 20,000千円

地方創生推進交付金事業

総括担当：総務部地方創生対策室

国から地方創生推進交付金事業の採択を受け、「農産物ブランド化・6次産業化」「伝統産業継承」、「移住・定住促進」「まちの賑わい創出」等、様々な地方創生事業を積極展開し、地方創生総合戦略の着実な推進を図ります。

①「次世代につなぐ稼げる農山漁村づくり事業」263,317千円

宮城県と白石市が連携して、特産品や観光資源、伝統工芸等の地域資源を活用して交流人口の拡大を促しながら、産地としての魅力向上に取り組むとともに、6次産業化による産品や加工品の販路拡大を推進しようとするものです。

○農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業 160,000千円

地方創生の一大拠点「しろいしSunPark」内に6次産業チャレンジ法人が整備予定の農産物・加工品等食事提供施設「みのりKitchen」及び商品開発・研修施設「みのりLabo」建設に対する支援を行おうとするもの。
(7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費)

○日本一の米復活プロジェクト事業 3,179千円

- ・食味日本一の「しろいし米」復活プロジェクト推進事業 2,879千円
同プロジェクトに対してササニシキ作付支援として栽培実証経費、販売促進・PR活動経費等について補助を実施し、作付面積の拡大、経営安定化に向け支援しようとするもの。
(6款農林水産業費 1項農業費 4目農業振興費)
- ・白石の食材を活用した食育事業 300千円
子育て支援・多世代交流複合施設事業の一つとして、地元食材の大切さを世帯間で共有することを目的に料理教室等のイベントを開催。
(3款民生費 2項児童福祉費 8目子育て支援・多世代交流複合施設費)

○6次産業チャレンジ法人支援事業 87,000千円

6次産業チャレンジ法人が市の支援により平成30年7月に加工施設「みのりFactory」を整備し試験操業開始。同法人に対し自立化に向け生産体制の確立・販路拡大等への支援を継続実施しようとするもの。
農産物の一次加工（野菜・果樹等の規格外・余剰産物の有効活用）、レトルト食品の製造、料理教室・食育活動等を計画。
(7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費)

○しろいし農産物ブランド化推進事業 1,969千円

- ・農産物収穫等イベントPR事業
おもしろいし市場のオープンに伴うイベント・PRの強化を実施。
(6款農林水産業費 1項農業費 4目農業振興費)

○伝統産業継承事業 **3, 969千円**

こけし工人の後継者育成・白石和紙の製造技術の伝承を支援

- ・ 伝統こけし工人後継者育成事業 2,514千円
 - ・ 伝統産業（白石和紙）継承事業 1,455千円
- （7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費）

○白石の魅力向上を推進する事業 **7, 200千円**

- ・ 城花町しろいし事業 4,000千円
- 花と緑を活用した白石の魅力向上に向け、スパッシュランドパークの植栽強化を始め、市民とともに花木の植栽等に取り組もうとするもの

（8款土木費 4項都市計画費 2目公園費 3,030千円）

（10款教育費 5項社会教育費 6目地域支援費 970千円）

- ・ 白石ブランド魅力向上事業 3,200千円
- ソーシャルメディアから収集したデータやワークショップ結果をもとに若い世代を中心に賑わい創出に向けたワークショップ等を開催し新たなイベントや施設運営等の検討を進めるもの。

（2款総務費 1項総務管理費 7目企画費）

②「地域資源をフル活用した賑わいまちづくり事業」 **27, 109千円**

地域資源の磨き上げや伝承を行いつつ、体験型・着地型観光の充実やイベントの開催、効果的なプロモーション推進を通じて、地域経済の活性化と稼ぐ力の向上、交流人口の拡大を進めていこうとするものです。

○地域ブランド（新白石三白）創出推進事業 **5, 500千円**

「白石市地域ブランド（新白石三白）推進事業」として、「白石三白（和紙・温麺・葛）」に代わる新たな地域ブランド「新白石三白」として、白のイメージにこだわった一次産品や加工品、料理メニュー、工芸品等のブランド化に向け、白石商工会議所を通じてブランド認定や、当該産品を用いて地域活性化を図る事業者を支援するもの。

（7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費）

○戊辰戦争150年関連事業 **7, 852千円**

白石城や「世良修蔵の墓」といったゆかりの史跡をフル活用し、更なる魅力向上のための「しろいし慕心プロジェクト」イベント及びキャンペーンの開催等を通じて、賑わいの創出や交流人口の拡大を図るとともに、市民が地域の魅力を再発見し、誇りや愛着を持つことを目指そうとするもの。

平成31年度は登別市や札幌市白石区への移住を説明したパンフレットや白石の風景写真をまとめたフォトブックの制作を行うことを計画。

- ・ 戊辰戦争150年にちなんだ歴史伝承・魅力発信事業
- （2款総務費 1項総務管理費 7目企画費） 7,736千円
- （10款教育費 5項社会教育費 4目文化財保護費） 116千円

○地域資源の魅力掘り起こし・創造事業 **13, 757千円**

- ・ 大坂夏の陣再現イベント（鬼小十郎まつり）強化事業 7,000千円
 - ・ 甲冑試着体験強化経費 2,183千円
- （2款総務費 1項総務管理費 7目企画費）
- ・ フィルムコミッション強化事業 4,574千円
- （7款観光費 1項商工費 4目観光費）

③「住みたい・住み続けたいまちしろいし事業」 32,869千円

本市に在住している学生等の若者の定住やU I Jターンを促進するため、地元企業と経済団体等の連携を進め、企業やまちの魅力を発信し、周知する取り組みを強化しようとするものです。

○白石市移住交流サポートセンター運営事業 32,080千円

- ・移住・定住者の相談窓口や空き家情報の提供、お試し住宅の運営
 - ・首都圏等への関連情報発信、各種移住フェア等への参加
 - ・高校生・大学生等を対象とした体験ツアーの企画等
- (2款総務費 1項総務管理費 8目定住促進費)

○起業・継業セミナー開催経費 489千円

平成30年8月に国から認定を受けた「白石市創業支援等事業計画」に基づき、商工会議所や関係機関と連携を図り、「創業塾」開催により創業の後押しや創業者のスキルアップを図ろうとするもの。

(7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費)

○ICT技術に対応した次世代技術者育成支援経費 300千円

民間団体が市内に開設した高校生や自治体職員等向けドローン等ICT技術の習得・体験スクールの運営支援を行い、人材育成を促進しようとするもの。

(2款総務費 1項総務管理費 7目企画費)

[歳入]	国庫支出金	
	地方創生推進交付金	161,645千円
[歳出]	地方創生推進交付金事業(合計)	323,295千円

平成31年2月 定例記者会見資料
平成31年度当初予算関係

定住の促進

〇わくわく地方生活実現政策パッケージ

担当：企業立地定住促進課

国は、東京一極集中を是正するとともに、地方の担い手不足を解消することを目的に地方創生推進交付金（移住・起業・就業タイプ）にかかる新たな支援制度として移住支援・就業支援事業（わくわく地方生活実現政策パッケージ）を創設（H30.6.15閣議決定）しました。

宮城労働局の統計によれば、県内の有効求人倍率は県北部を中心に高い値（1.67倍）となっていますが、本市においても1.35倍と高く、企業からは、人手不足の声が多く上がっている現状です。

今回、本事業の創設にあたり、宮城県では、県が窓口となって県内の市町村に意向調査を行い全市町村が実施の意思を示したことで、実施計画を策定することになりました。交付申請にあたっては、都道府県が代表となり、市町村と連盟で申請することになります。

この交付金事業のうち移住支援事業については、東京23区在住者（及び東京圏域からの通勤者）が地方へU I Jターンする場合で、宮城県が指定する中小企業へ就業することにより最大で100万円が補助されます。配分額は、宮城県枠で200世帯分が見込まれていて、うち本市においては5世帯分を申請する予定です。

〇事業概要

- ・実施主体：宮城県が交付金の受け入れ窓口になって市町村に予算を配分し、市町村が主体となって実施
- ・対象者（移住要件）：以下の①・②・③又は①・②・④の全てに該当する者
 - ①みやぎ移住サポートセンターに登録した者
 - ②就業先が、宮城県が指定した中小企業（市町村が推薦）であること。
 - ③東京23区在住者（連続5年以上在住が条件）
 - ④東京23区への通勤者（東京圏に連続5年以上在住が条件）
- ・支援金限度額：世帯は100万円、単身世帯は60万円

[歳入] 県支出金

宮城県移住支援事業負担金 3,750千円

[歳出] 2款 総務費 1項 総務管理費 8目 定住促進費

2事業 定住促進事業

19節 負担金補助及び交付金 5,000千円

平成31年2月議会 記者会見資料
平成31年度当初予算関係

東北観光復興対策交付金事業

担当：市民経済部商工観光課

○ OneZaoインバウンドプロモーション事業

広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」形成計画観光拠点地区「蔵王・山寺」をPRするため、蔵王連峰を取り囲む本市を含む6市町が連携し、「蔵王（ZAO）」エリアの観光コンテンツを海外に紹介するプロモーション活動を実施します。

○事業概要

- ・海外旅行博（台湾・タイ）
- ・ファムトリップ及び商品造成（台湾・タイ・中国・香港）
- ・海外メディア広告（台湾・タイ）
- ・プロモーション動画製作（台湾・タイ向け）
- ・共通パンフレット作成（繁体字・タイ語・英語）
- ・BtoB海外営業活動（中国・香港）
- ・ホームページ及びSNSによる情報発信
- ・スキー関連施設の外国語対応強化
- ・旅館施設案内翻訳
- ・自転車ヒルクライムツーリズム造成事業
- ・ポタリングツーリズム造成事業
- ・甲冑試着体験・こけし絵付け体験事業

○連携自治体

宮城県：白石市・蔵王町・川崎町・七ヶ宿町
山形県：山形市・上山市

○ ジャパンエコトラック(ロングトレイル)による蔵王観光発信事業

北蔵王のロングトレイルコースをベースに、自転車やカヌー等人力による移動手段で、自然を体感しながら地域の歴史や文化、人々との交流を楽しむ旅「エコトラック」へと発展させ、コース新設や延長及び派生ルートの充実を図り、蔵王ブランドを確立し、蔵王エリアの魅力を発信することにより海外からの誘客を促進します。

○事業概要

- ・コース新設及び派生ルートの整備
- ・プロモーション

○連携自治体

宮城県：白石市・蔵王町・川崎町・七ヶ宿町
山形県：山形市

[歳入] 国庫支出金

東北観光復興対策交付金 49,397千円

[歳出] 7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費

4事業 観光振興事業

9節 旅費 480千円

11節 需用費（印刷製本費） 4,796千円

13節 委託料 53,453千円

18節 備品購入費 3,024千円

合計 61,753千円

平成31年2月議会 記者会見資料

平成31年度当初予算関係

白石スキー場整備事業

担当：市民経済部商工観光課

みやぎ蔵王白石スキー場（以下「白石スキー場」）は、南蔵王東部中腹の酪農を中心とした開拓農家の点在する地域に位置し、白石スキー場が唯一の主な公共施設です。

白石スキー場は、昭和44年に観光及び冬季スポーツ振興のため民間業者が整備したのですが、平成9年に整備した民間業者が倒産し、白石スキー場は廃止の危機を迎えました。しかし、白石スキー場は地域住民にとって重要な就労の場であり、他に経営を引き受ける事業者がいなかったことから、雇用の確保と地域振興のため平成11年に本市がスキー場施設を引き受け、運営はNPO法人不忘アザレアが行うこととなり現在に至っています。

本年度は、平成27年度から実施している大規模な施設整備の最終年度になります。

今回の白石スキー場大規模改修により、将来に向けた施設利用の安全確保を図るとともに、白石の冬を満喫していただける魅力ある施設づくりに努めます。

○事業概要

- ・ファミリーリフト（旧第5リフト）架け替え工事

[歳入]	市債			
	白石スキー場整備事業債			129,600千円
[歳出]	7款 商工費	1項 商工費	8目 白石スキー場費	
	2事業 一般管理的経費			
	15節 工事請負費			129,600千円

平成31年2月議会 記者会見資料
平成31年度当初予算関係

有害鳥獣対策

○有害鳥獣被害防止対策事業

担当：市民経済部農林課

有害鳥獣対策は、特に「イノシシ」による農林作物への被害が大きいことから、29年度は1,318頭、30年度も1月末現在で1,443頭のイノシシを捕獲しており、来年度も引き続き捕獲による個体数の調整を推進します。また、電気柵等の設置者や狩猟免許取得者への助成を引き続き行うほか、箱わな製作の助成を継続し、被害対策を強化します。

○助成制度

- ・鳥獣被害防止総合対策交付金 22,440千円
(鳥獣被害対策実施隊イノシシの捕獲・駆除費)
※捕獲見込頭数 1,800頭
- ・農林作物鳥獣被害防止対策事業補助金 5,600千円
(電気柵補助 5,000千円) 5万円×100戸
(箱わな製作補助 600千円) 3万円×20基
- ・農作物有害鳥獣対策協議会補助金 1,100千円
(鳥獣被害対策実施隊傷害保険料など)
- ・狩猟免許取得費助成金 366千円
(狩猟免許受験手数料・講習会受講料)

[歳出] 6款 農林費 2項 林業費 1目 林業総務費
3事業 有害鳥獣対策事業 36,968千円

白石市上下水道お客さまセンターの開所について

担当：上下水道事業所

人口減少や節水型社会への移行などによる有収水量の減少、過大な広域水道からの受水費負担など厳しい経営環境が続くなかで、戦後急速に布設した配水設備等が一斉に老朽化し、その更新事業に多大な費用が今後必要になりますが、長い間水道をささえた職員の退職による知識、技術の喪失などが全国の水道事業の課題となっています。

これに対し、優れた技術・実績を持つ民間事業者が全国の上水道事業の様々な分野で受託実績を積み重ね、特色ある優れたサービスの提供を行っており、宮城県内においても複数の自治体が委託を実施しています。

当市においても、検針、料金請求、滞納整理、お客様窓口、コールセンター、上下水道料金システムなど、総合的な料金関係業務について公募型プロポーザルを実施し、お客様のニーズに的確に対応したサービスを提供できる柔軟な姿勢、情報化社会に適応した高度な技術及び体制、個人情報管理に対する確実なセキュリティーと高い倫理性、従来にない高い質の提案力などを審査した結果、平成30年8月8日に第一環境株式会社東北支店と契約を締結し、以後受託開始の準備を行って参りました。

この度、平成31年3月1日に、奥州街道ふれあいの館1階（白石市上下水道事業所内）に「白石市上下水道お客様センター」を開所し、お客様サービスの向上を図るとともに、限られた経営資源を有効に活用することを目指します。

- 今後の日程
1. 白石市上下水道お客さまセンター開所式
日 時：平成31年3月1日（金）8：10分～
場 所：奥州街道ふれあいの館1階正面入口
（白石市上下水道事業所内）

白石市と第一環境株式会社との
「災害時における応急給水等業務の応援に関する協定」及び
「高齢者等の見守りに関する協定」の協定締結式

日 時：平成31年2月18日（月曜日）11時～
会 場：白石市役所 防災センター 2階 会議室

次 第

1. 開 会

2. 出席者紹介

3. 協定締結

4. 記念撮影

5. 挨拶

白石市長 山田 裕一

第一環境株式会社東北支店
支店長 千葉 克行 様

6. 閉 会

白石市立白石中学校と 中国の中学校との友好校締結

担当：教育委員会学校管理課

国際化が進展する中であって、国際社会で活躍できる人材を育成する上では「語学力にとどまらず、新たな価値を生み出せる想像力、さらには国際社会で自らの考えを積極的に発信する能力」を養うことが重要なことから、今回中国上海市にある中学校と友好校の協定を締結したところです。

○友好校締結校

華東師範大学第二附属中学附属初級中学

○締結日

平成31年1月15日

○交流の内容

1. 生徒：訪問校の通常の学校活動への参加
2. 学校管理職及び教師：訪問校の教育目標、指導方法及び評価方法の研修



(2019年1月15日)

○今後の予定

- ・華東師範大学第二附属中学附属初級中学生の来日

期間：平成31年3月6日（水）から3月10日（日）

白石市滞在期間：3月7日～9日

交流内容：7日 ホームステイの受入

8日 中学1年生との交流、卒業式予行練習見学、給食、掃除体験、碧水園茶道体験

9日 スキー体験